



村松公園

| ◆目次 | ページ |
|-----------|------|
| 第1回 2月定例会 | 2 |
| 委員会審査報告 | |
| 総務文教常任委員会 | 3 |
| 市民厚生常任委員会 | 3 |
| 建設産業常任委員会 | 4 |
| 議決結果・議案概要 | 4～5 |
| 一般質問 | |
| 13人が市政を問う | 6～10 |
| 当局報告 | 10 |
| 請願・発議 | 11 |
| 編集後記 | 12 |

令和二年度一般会計予算は、二百四十八億八千二百万円で前年比二・五%の増額となりました。

人の交流と物流の活性化を図る複合施設の建設や東南環状線及び主要地方道白根安田線金津街道踏切拡幅など、今後の市街地中心部のさらなる発展に期待しております。

また、近年、全国的に激甚化する災害が頻発しており、地域防災力の向上がこれまで以上に求められております。

五泉市議会といたしましても、安心・安全なまちづくりに向け議員全員が更に研鑽し、五泉市発展に寄与してまいります。

議長室から



議長
林 茂

令和2年第1回

2月
定例会

新年度予算など37議案を可決

令和2年第1回2月定例会が2月27日に招集され、3月18日までの21日間の会期で開催されました。

初日の27日は、会期の決定、議長報告、当局報告、各会計補正予算案など7件の議案を審議・可決した後、新年度に向けた市長の施政方針の説明があり、続いて市政一般に関する質問の一部を行いました。

2日目の28日は、当局からの当局報告の後、引き続き市政一般に関する質問の一部を行いました。

3日目の3月3日は、前日に引き続き市政一般に関する質問を行い、議案26件を一括議題として当局の提案説明を行い、議案と施政方針に対する総括質疑を行いました。

4日目の4日は、引き続き議案26件と施政方針に対する総括質疑を行った後、各常任委員会に付託しました。また請願1件も所管常任委員会に付託しました。

最終日の3月18日は、委員会付託案件について各常任委員会の審査報告に続いて採決が行われ、それぞれ可決しました。その後、人権擁護委員の推薦に関する人事案件1件、日程追加された市長からの追加議案1件と議員発議1件、議員派遣を審議・採決して閉会しました。

2月定例会の日程

| 月 日 | 内 容 |
|--------------|---|
| 2月 27日(木) | 本会議（開会、会期決定、議長報告、当局報告、議案審議、施政方針説明、一般質問） |
| 28日(金) | 本会議（当局報告、一般質問） |
| 3月 3日(火) | 本会議（一般質問、議案上程、質疑） |
| 4日(水) | 本会議（質疑、委員会付託、議長報告） |
| 6日(金)～10日(火) | 総務文教常任委員会、市民厚生常任委員会、建設産業常任委員会 |
| 18日(水) | 本会議（委員会審査報告、採決・議案審議、議員派遣、閉会） |

総務文教常任委員会 審査報告

◎佐藤 浩 羽下 貢 牛腸 利栄 山田 正良
 ○鈴木 良民 剣持 雄吾 安中 聡

(◎委員長 ○副委員長)

災害時の備蓄品確保について 【総務課】

問 今、全国で液体ミルクというものが注目されているが、備蓄を検討してはどうか。

答 液体ミルクは、熊本地震の時にフィンランドから提供されたことでクローズアップされた。粉ミルクは、容器に移さなければならず、お湯も必要だが、液体ミルクは、飲み口を付けることで導入済みとの報道もある。今後はこのような備蓄も必要と考えており、前向きに検討する。

(仮称)交流拠点複合施設 に関して【生涯学習課】

問 指定管理者の決定後に協議・検討して決めていく事項があると思うが、指定管理者はいつまでに決定するのか。

答 四月早々に募集要項を策定して募集をし、九月頃まで決定するように検討している。指定

管理者が決定した後、半年程度で複合施設の内容の検討・協議をする。また、令和三年度に建物が完成した後、維持管理・利用方法の内容を協議する。指定管理者の決定後オープンまで一年程度は最低限必要と考える。

施設利用の申請手続きについて【教育委員会】

問 利用者が窓口で申請をして、金融機関で使用料を納めるという現在の方法をどのように考えているのか。

答 教育委員会所管施設では、利用者の不便さを認識しており、他市のやり方も確認している。ただ、市全体で申込みと納入するものがあるため、全庁的に協議し、次、どのような手が打てるのかを考えていかなければならない。

以上のような質疑を踏まえて慎重に審査した結果、付託された議案十二件を可決した。

市民厚生常任委員会 審査報告

◎熊倉 政一 長谷川政弘 松川 徹也 佐藤 良徳
 ○白井 妙子 深井 邦彦 波塚 静亮

(◎委員長 ○副委員長)

健康ポイントわくわく キャンペーン事業 【健康福祉課】

問 新規事業だが、具体的な取り組みについて。

答 がん検診の受診率の向上を目的として、がん検診あるいは様々な運動教室を受けてポイントを集めた方二百人に、抽選で三千円分の商品券などの景品を出すという方法を考えている。

特定健康診査受診 対策事業 【市民課】

問 継続事業だが、具体的な取り組み内容と令和元年度の利用者数について。

答 本事業は国民健康保険の方を対象に実施しており、令和元年度は健診を受けていた、たくさんを必須項目とし、さらに自分で立てた目標に対するポイントを積み重ねて一〇〇ポイント達成すると応募ができるという事

公害対策事業 【環境保全課】

業で実施した。自分で目標を設定することがハードルになってしまい、応募が見込みより若干少ない状況になっている。令和二年度は健康福祉課と連携し、健診受診を応募条件にしてよりわかりやすい内容の事業に展開していきたい。

問 工場の排水等水質検査や悪臭の確認は川東地区でも行われているか。

答 水質調査している。毎年基準内で問題はないということの結果をいただいている。悪臭も含め事業が発生した場合は県環境センターへ情報提供している。

以上のような質疑を踏まえて慎重に審査した結果、付託された議案十件を可決した。

建設産業常任委員会 審査報告

(主な質疑)

下水道の受益者 負担金について 【上下水道局】

問 受益者負担金については、五か年に分けて支払うものという認識であるが、今回該当する地域と件数について。

答 第五期区域として整備した、荻曾根、土深、石倉団地、二ツ柳、能代、太田、寺沢地区の七百二十件に納付書を送付する予定である。

問 受益者負担金の賦課に入る方法について。

答 各家庭に繋がる管の前に、まず幹線的な元になる管渠を先行して工事し、その後、そこから枝分かれする部分の下水道工事に着手してからの受益者負担金の賦課となる。

要望 受益者負担金をめぐっては、過去にも住民の理解がなかなか得られないような場面もあったので、当該区域の住民に十分理解が得られるような丁寧な説明、対応に心掛けていただ

- ◎伊藤 昭一
- ◎桑原 一憲
- 林 茂
- 阿部 周夫
- 今井 博
- 佐藤 涉

きたい。

(仮称)交流拠点複合施設 整備工事について 【都市整備課】

問 授乳室やフリースペースなど、どれくらいの数の子供が遊びに来ることを想定して設計したのか。

答 子供の遊び場については、設計者からの提案もあり、多目的ホールや産業振興スペース等を含めた全体のバランスを考慮して遊び場の面積を決定した。建物の中でできる限り子供の遊び場スペースを確保した。より多くの人から利用してもらえよう整備をしていきたい。

以上のような質疑を踏まえて慎重に審査した結果、付託された議案七件を可決した。

(◎委員長 ○副委員長)

主な議案の議決結果・概要

| 提出者 | 議案番号 | 議案名 | 審査した委員会 ※1 | 本会議議決結果 | 概要 |
|--|-------|--------------------------------------|------------|---------|---|
| 市 長 | 議第1号 | 川内辺地に係る総合整備計画の策定について | 総務文教 | 可決 | 令和2年度から3年度の間川内地域で計画している道路改良事業、橋梁整備事業、消防施設整備事業を、財政上の支援が受けられる辺地対策事業債を活用して行うため、計画を策定するものです。 |
| | 議第2号 | 蛭野辺地に係る総合整備計画の策定について | 総務文教 | 可決 | 令和2年度から3年度の間蛭野地域で計画している橋梁整備事業、消防団施設整備事業、消防施設整備事業を、財政上の支援が受けられる辺地対策事業債を活用して行うため、計画を策定するものです。 |
| | 議第3号 | 五泉市監査委員条例の一部を改正する条例の制定について | 総務文教 | 可決 | 地方自治法の改正に伴い引用条項を改めるものです。 |
| | 議第4号 | 五泉市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について | 市民厚生 | 可決 | 印鑑登録証明事務処理要領の一部改正に伴い、印鑑の登録資格及び印鑑登録原票の削除の規定について改正を行うものです。 |
| | 議第5号 | 五泉市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 総務文教 | 可決 | 職員のサービスの宣誓について、会計年度任用職員に係る規定を追加するものです。 |
| | 議第6号 | 五泉市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 総務文教 | 可決 | 地方公務員法の改正に伴う文言の整理を行うものです。 |
| | 議第7号 | 五泉市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について | 総務文教 | 可決 | 行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の改正に伴い題名改称及び引用条項を改めるものです。 |
| | 議第8号 | 五泉市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 総務文教 | 可決 | 災害弔慰金の支給等に関する法律の改正に伴う引用条項を改めるものです。 |
| | 議第9号 | 五泉市保育園保育料徴収条例の一部を改正する条例の制定について | 市民厚生 | 可決 | 五泉市保育園保育料徴収条例に認定こども園の園児の保育料の徴収についての規定を加えるものです。 |
| | 議第10号 | 五泉市給食費徴収条例の一部を改正する条例の制定について | 市民厚生 | 可決 | 五泉市給食費徴収条例に認定こども園の給食費の徴収についての規定を加えるものです。 |
| | 議第11号 | 五泉市通園バス利用者負担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について | 市民厚生 | 可決 | 五泉市通園バス利用者負担金徴収条例に認定こども園の通園の用に供する通園バス利用者負担金の徴収についての規定を加えるものです。 |

| 提出者 | 議案番号 | 議案名 | 審査した委員会 ※1 | 本会議議決結果 | 概要 |
|-------|---------------------------------|-----------------------------------|----------------------|--|---|
| 市 | 議第12号 | 五泉市放課後児童健全育成事業条例の一部を改正する条例の制定について | 市民厚生 | 可決 | すもと学童クラブを新設し、名称と位置を加えるものです。 |
| | 議第13号 | 五泉市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について | 建設産業 | 可決 | 民法の改正に伴う市営住宅で徴収する額の利率の改正と、老朽化した空き家住宅を用途廃止するものです。 |
| | 議第14号 | 五泉市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について | 総務文教 | 可決 | 不正競争防止法等の改正に伴う規定の改正を行うものです。 |
| | 議第15号 | 五泉市奨学金貸付条例の一部を改正する条例の制定について | 総務文教 | 可決 | 市税を滞納していない世帯であることを、貸付資格要件から削除するものです。 |
| | 議第16号 | 五泉市総合会館条例の一部を改正する条例の制定について | 総務文教 | 可決 | 総合会館利用者の利便性向上を図る観点から、回数券等を導入するものです。 |
| | 議第17号 | 五泉市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について | 総務文教 | 可決 | 体育施設利用者の利便性向上を図る観点から、回数券等を導入するものです。 |
| | 議第18号 | 市道の廃止について | 建設産業 | 可決 | 議第19号で、接続部分や延伸部分を合わせて新たに市道認定されるため、三本木西8号線1路線93.2mを廃止するものです。 |
| | 議第19号 | 市道の認定について | 建設産業 | 可決 | 三本木西8号線、三本木西11号線、三本木西12号線、横町西住宅2号線の4路線、合計延長260.3mを市道認定するものです。 |
| | 議第20号 | 令和元年度五泉市一般会計補正予算(第8号) | | 可決 | 既決予算総額から7億1,632万4千円を減額し、歳入歳出予算総額を246億1,174万2千円とするものです。歳入では基金繰入金の減額、歳出では各事業の精算見込みによる減額が主なものです。 |
| | 議第21号 | 令和元年度五泉市国民健康保険特別会計補正予算(第5号) | | 可決 | 既決予算総額に2,313万6千円を追加し、歳入歳出予算総額を59億2,360万6千円とするものです。歳入では保険基盤安定繰入金(保険税軽減分および保険者支援分)の追加が主なもので、歳出では予備費の調整が主なものです。 |
| | 議第22号 | 令和元年度五泉市介護保険特別会計補正予算(第5号) | | 可決 | 既決予算から5,764万5千円を減額し、歳入歳出予算総額を65億1,234万6千円とするものです。歳入では保険料、国庫支出金、支払基金交付金の減額が主なもので、歳出では保険給付費の減額が主なものです。 |
| | 議第23号 | 令和元年度五泉市下水道事業特別会計補正予算(第5号) | | 可決 | 既決予算総額から1億9,667万7千円を減額し、予算総額を26億6,594万8千円とするものです。歳入では公共下水道整備事業債など市債1億9,150万円の減額が主なもので、歳出では汚水管渠整備事業2億1,272万5千円の減額が主なものです。 |
| | 議第24号 | 令和元年度五泉市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号) | | 可決 | 既決予算総額から236万9千円を減額し、予算総額を3,218万7千円とするもので、歳入は簡易水道使用料51万9千円と一般会計繰入金185万円の減額です。歳出は受水費120万円と消費税及び地方消費税116万9千円の減額です。 |
| | 議第25号 | 令和元年度五泉市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号) | | 可決 | 既決予算総額に85万5千円を追加し、歳入歳出予算総額を5億3,316万1千円とするものです。歳入では保険基盤安定繰入金の追加が主なもので、歳出では後期高齢者医療広域連合納付金の追加が主なものです。 |
| | 議第26号 | 令和元年度五泉市水道事業会計補正予算(第5号) | | 可決 | 収益的収支の収入予定額から受託工事収益1,200万円を減額し、支出予定額から受託工事費960万円と総係費264万8千円などを減額するものです。また、資本的収支の収入予定額から工事負担金3,800万円を減額し、支出予定額から配水設備費1億3,320万円などを減額するものです。 |
| | 議第27号 | 令和2年度五泉市一般会計予算 | 総務文教 市民厚生 建設産業 | 可決 | 予算総額は248億8,200万円で、前年度当初と比較して6億200万円、2.5%の増加です。土木費が(仮称)交流拠点複合施設建設事業、市営住宅建設事業などにより49.1%増の43億9,127万円となっています。 |
| | 議第28号 | 令和2年度五泉市国民健康保険特別会計予算 | 市民厚生 | 可決 | 予算総額は56億1,998万5千円で、前年度と比較して1億6,571万5千円、3.0%の増加です。保険給付費が9,966万6千円、2.4%、国民健康保険事業費納付金が6,504万9千円、5.3%それぞれ増加しています。 |
| | 議第29号 | 令和2年度五泉市介護保険特別会計予算 | 市民厚生 | 可決 | 予算総額は63億751万1千円で、前年度予算と比較して1,917万5千円、0.3%の増加です。歳出の92.2%を占める保険給付費は310万円の増加となっています。 |
| | 議第30号 | 令和2年度五泉市川東財産区一般会計予算 | 建設産業 | 可決 | 予算額は、369万6千円で、前年度当初と比較して8万円、2.1%減少しました。財産管理費の24万8千円の減少と予備費16万8千円の増加の差し引きによるものです。 |
| | 議第31号 | 令和2年度五泉市後期高齢者医療特別会計予算 | 市民厚生 | 可決 | 予算総額は5億6,549万7千円で、前年度と比較して4,317万9千円、8.3%の増加です。後期高齢者医療広域連合納付金が4,867万6千円、9.9%増加しています。 |
| 議第32号 | 令和2年度五泉市水道事業会計予算 | 建設産業 | 可決 | 支出予定額の合計は、29億1,829万1千円で、前年度当初と比較して1億3,285万7千円、4.8%増加しました。送・配水管の新設や布設替工事、井戸や浄水場整備を計上しています。 | |
| 議第33号 | 令和2年度五泉市下水道事業会計予算 | 建設産業 | 可決 | 令和2年度より公営企業会計へ移行し、支出予定額の合計は、35億6,387万8千円です。汚水管渠整備工事や雨水幹線の長寿命化工事を計上しています。 | |
| 議第34号 | 令和元年度五泉市一般会計補正予算(第9号) | | 可決 | 既決予算総額に2億8,632万5千円を追加し、歳入歳出予算総額を248億9,806万7千円とするものです。国の補正予算に伴う事業の追加と、新型コロナウイルス感染症の対応に要する経費を追加しました。 | |
| 諮問第1号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(樋口 俊氏) | | 適任と認める | 令和2年6月30日付けをもって樋口 俊氏の任期が満了するため、引き続き同氏を推薦するものです。 | |
| 請願者 | 請願第1号 | 基礎年金の改善を求める意見書採択の請願 | 市民厚生 | 採択 | 若者も高齢者も安心して老後を暮らせるように、高齢基礎年金等を改善することを求める意見書を、内閣総理大臣や国会に対して提出するよう求めるものです。 |
| 議員 | 発議第1号 | 基礎年金の改善を求める意見書の提出について | | 可決 | 若者も高齢者も安心して老後を暮らせるように、高齢基礎年金等を改善することを求める意見書を、内閣総理大臣や国会に対して提出するものです。 |

※1 総務文教：総務文教常任委員会、市民厚生：市民厚生常任委員会、建設産業：建設産業常任委員会

一般質問

13人が

市政を問う!

問

答



【一般質問とは】 各議員が市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をたずねることです。「議会だより」では限られた字数で広報委員会が編集しています。質問、答弁の詳しい内容は会議録でご覧いただけます。今定例会の会議録は五泉市ホームページで6月頃 から閲覧いただけます。

少子化、人口減少について

阿部 周夫 議員

問 少子化により令和八年四月の小学校一年生の児童数は五泉小学校三十六人、五泉南小学校三十四人、五泉東小学校三十二人、川東小学校十四人、巢本小学校十人、橋田小学校七人、大蒲原小学校四人、村松小学校十七人、愛宕小学校十九人である。地方の人口減少は、各地方自治体のみならず、国が率先して歯止めをかけなければならぬ。人口減少による財政不足、少子化等、地方自治体の行政運営が非常に厳しくなる。今後の五泉市の行政運営について市長の見解を問う。

答 地方の人口減少は深刻である。五泉市でも平成十八年一月に五万八千四百三十六人であった人口が令和元年十二月末現在四万九千七百三十四人となり、十四年間で八千七百二人減少した。今後とも五泉市行財政改革大綱に基づいて行財政改革を実行し、歳出の削減や新たな財源確保の取組などを行い、健全な財政を維持しつつ適正な住民サービスを実施し、持続可能な行政運営に努めていく。

児童の心のケアについて

松川 徹也 議員

問 児童虐待の実態をしっかりと検証し、必要に応じ行政や地域との連携も強化していかなければならない。増加傾向にある児童問題に対し、市として早急な対応を求め、具体策を伺う。

子供を見守る保護者へのサポートも必要と感じるが、子供政策と同時に親御さんへのケアをする取組はなされているか。また、LINE等の相談窓口の設置を要望するが、いかがか伺う。

答 マニュアルに基づき、園や学校等に出向くなどして安否を確認しています。その上で関係機関との情報共有、役割分担をしながら、児童と悩みを抱えた保護者の心に寄り添った支援を継続しております。

SNSを活用した相談窓口は、時代ニーズに対応したものと認識していますが、市単独での設置については研究の必要があります。

複合施設の運用について

伊藤 昭一 議員

問 複合施設は来年の秋には供用が開始であり、既に造成工事がはじまり、どのようになるのか。大きな期待と市の財政は大丈夫なのか。人口が減少している中、将来に負の財産として残らないのか不安の声が多く聞こえ、ぜひ五泉市民には安心のできる明快な答弁とビジョン、展望を示していただきたいと思う。

複合施設工事の進捗状況はどうか。また、現時点での総事業費はどれくらいと見ているのか。複合施設の運用をどのように考えているのかを問う。

答 進捗状況については、令和三年秋の開館に合わせ順調に進んでいる。総工事費については合計で三十六億円程度を見込んでいる。本施設の特徴を生かし、広域、世代間交流、市民活動を通じた交流など、多様な市民交流を促進し地域の活性化を図ってまいります。

賑わいを創造する方策について

羽下 貢 議員

問 人口減少が急速に進む中で、地域の定住人口の増加や減少抑制、そして交流人口の拡大が「賑わい」の創出には不可欠である。様々な対策が実施されてきたが、効果がなかったと言わざるを得ない。まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略が策定されるにあたり、これまでの対策の有効性とその評価をどのように分析しているのか。「賑わい」喪失の原因はどこにあるのか。また今後の方策を問う。

答 人口減少は、まちの「賑わい」の喪失につながるため、人口の維持を図る、活力ある五泉市を維持していくために、総合戦略四つの基本目標に沿って取り組んできました。これからの五泉市が、どうあるべきかを考え、これまでの戦略を評価、検証し、新規事業の追加、現在取り組んでいる事業の見直しを図り、第二次総合戦略を策定、子育て環境の充実、就業環境の創出、移住定住の促進に取り組んでいく。

複合施設について

安中 聡 議員

問 建設に様々な費用を合わせ、当初約三十億としていたものが約三十六億円に増額されていたところである。また維持費に年間約一億円というような試算を聞いた。このことによって五泉市の財政破綻や将来の市民の税負担の増加を危ぶむ声がある。なぜ金額が膨れ上がったか、その際になぜ建設の取りやめ、または規模の縮小の判断をしていかなかったのかを問う。

答 当初の計画から比べると労務費が二割以上上昇、建設資材の高騰、建築費については二十八億円を予定しています。建築費以外の用地購入費や物件補償料、造成工事費や設計委託料などで八億円、合計で三十六億円程度を見込んでいます。五泉市活性化の核として魅力的な施設、市民の皆様から喜んでもらう施設にしたいと考えております。

地域おこし協力隊事業について

桑原 一憲 議員

問 地域おこし協力隊事業、五泉で農業やってみ隊、五泉の良いことつたえ隊それぞれの活動目標と活動内容について、またこれまでの活動実績と効果及び課題について伺う。また、隊員の日常生活の支援、活動支援はどのような体制で行われているのか伺う。この事業の任期終了後、五泉への定住、起業に向けた支援体制はどのように行われているのか伺う。

答 三名の地域おこし協力隊が活動しております。新規就農を目指した農業研修に従事することや、観光情報の発信、イベントの企画、など地域振興の推進につなげることを目的とし、多岐にわたる分野で活躍している隊員の活動を市民に知ってもらうことが課題。任期終了後に起業を希望する隊員には、起業支援補助金の活用を紹介するなど、定住に向けた支援体制も整えております。五泉に愛着を持ってもらい、定住につなげていきたいと考えております。

地域公共交通について

長谷川政弘 議員

問 南部郷総合病院の移転に伴い、病院建設計画の話合いの中で、病院関係者、患者さん、家族などが利用する、病院バス運行の要望はなされたか。次に、教育委員会が運行するスクールバスについて、他の自治体を取り組んでいる通学時間や通学時間以外の空き時間に、事前登録された地域住民が利用できないものか。また、新たな公共交通手段として、グリーンスローモビリティの活用を行ってはいかがか伺う。

答 通院バスの運行について、市からも打診を行い、病院側も検討されたようですが、運行されておりません。次にスクールバス混集化についてですが、今後児童、生徒の通学の運行に支障がないように構築できるのか調査研究する必要があります。グリーンスローモビリティですが、国土交通省も普及の推進を図っており、導入自治体の事例など、情報収集に努めます。

自助・共助の取り組みで命を守れ

山田 正良 議員

問 災害弱者の個別避難計画の策定など重要な課題だと思えます。災害対応の反省や被災自治体の教訓等を生かすべきです。災害を我が事として市民が自らの避難行動を事前に決めておく必要がある。その取組を伺う。

防災士を一つの軸に、災害への備えを一層強化したいがどうか。また、公共性の高い地震保険の普及と加入促進に努める必要があると考えるが、これについて伺う。

答 災害派遣の経験から地域への検証作業も行った。今後も、備蓄品を含めて、地域防災計画を基本として万全を期してまいります。

マイタイムラインや災害避難カードの活用については、自主防災組織などと協力し、その必要性について伝え、市独自の地域防災リーダーの認定などの取組も進めたい。地震保険は自助の観点からも有効であるが、基本的には市民の皆様判断により加入頂きたい。

園児を交通事故から守る
安全対策について

佐藤 良徳 議員

問 保育園における園外活動である散歩は、子供たちにとって生きる力身につけるための重要な要素の一つであり、自然の移り変わりを直接感じることのできる大切な機会であると思う。昨年の大津市の事故を踏まえて、市でも同様な事故を防ぐための取組が必要と考える。

交通安全対策の再点検が必要と考えるが市としての取組はどうか。また散歩時の移動コースの交通安全の実施をすべきと考えるが、現状の取組を伺う。

答 外出時における安全管理の徹底を指示している。緊急安全点検等実施要領に基づき、交通安全対策の再点検を実施した。危険箇所を抽出して、その対策案を作成している。

今後も関係機関と連携を図り、子供たちの安全確保に努めてまいります。

公共施設の使用料見直しについて

波塚 静亮 議員

問 昨年の六月の公共施設の使用料見直しに伴い有料化後の直近の利用人数、利用人数の推移、収入の推移状況について伺う。そして、現段階での当局の評価を提示されたい。それから、依然として、決定の過程と周知不足等について多くの市民から不満の声が寄せられており、そのことについての見解を問う。

答 主な施設の利用状況として総合会館三二・一％減の十九万四千九百二十九人、村松体育館ほか体育施設の利用人数は二八・二％減の十六万三千百六十一人、学校開放施設の利用人数は五・七％減の十一万九千四十七人、さくらんど会館の利用人数は二三・三％減の四万四千二百二十九人です。広報や市ホームページなどへの掲載により、広く周知を図ってきたところであり、今後も利用しやすい施設運営となるよう努めてまいります。

待機児童解消について

白井 妙子 議員

問 近年核家族が増え、祖父、祖母が父母の代わりに子育てが難しくなっている。また働く女性が増え、共働きの家庭が増え、女性の社会進出が進むことにより、女性の就業率が上がり、家で子供を育てることが難しく、保育施設に預けざるを得ない家庭が増えている。保育を必要とするすべての家庭が、利用できる支援がなされているのか。待機児童数の推移、新年度の保育園の受け入れ状況とその体制を問う。

答 待機児童数は、平成三十年十月四人、令和元年十月一人。令和二年四月の受け入れ状況は、公立・私立と合わせた申請者千二百二十人全員の入園が可能となっています。入園希望者に対応するためには、保育士の確保が最も重要であり、ハローワークを活用した求人、インターンシップやボランティアの受け入れなど、全庁横断的なネットワークを駆使して、保育士の確保に努めます。

住宅リフォーム助成制度について

今井 博議員

問 五泉市は平成二十三年一月から緊急経済対策事業として、市内建設関連業界の振興を図るため、工事実施者に対して建設費の一部を補助すると補助目的でうたっている。開始以来、施工する建築関連業者の皆様や申請する多くの市民の皆様から大変喜ばれ、大きな経済効果のある制度と思っている。この助成制度を利用した、平成二十五年度と平成二十九年度の二カ年の実績を伺う。

答 平成二十五年度は申請件数五百八十七件、補助金額五千四百六十四万円、工事費約六億四千万円であり、平成二十九年度は申請件数三百三十六件、補助金額三千三百一十二万円、工事費約四億六千万円で、そのうち一般世帯は申請件数三百八件、補助金額三千五十八万六千円で、新婚及び子育て世帯の申請件数は二十八件、補助金額二百五十二万六千円です。

移動式期日前投票所の導入について

鈴木 良民議員

問 山間地域では人口減少が著しく、高齢者世帯が増えていることや、交通手段のない有権者も多い。前回の市長答弁では、投票率の向上や体のご不自由な方、投票所に行きたいが行けない方のフォローをどのようにするか、選挙管理委員会で十分論議していただくとしているが論議されたのであれば、その内容について伺う。併せて移動式期日前投票所の導入を実施するか伺う。

答 県や他市町村の選挙管理委員会と情報交換を行っています。先進事例を参考に、将来的な投票所の統廃合の議論と併せてこれからも情報収集に努め研究してまいります。投票率の向上に向けて一層の啓発に努めてまいります。

当局報告

定例会初日の2月27日、市長から次のとおり議会で報告を受けました。

- ◆ 1月18日の村松甲寺町地内の火災について
- ◆ 1月28日の強風被害について
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の対応について

定例会2日目の2月28日、市長から次のとおり議会で報告を受けました。

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の対応について

請 願 に つ い て

— 一次の請願を採択しました。 —

◆請願第 1

基礎年金の改善を求める意見書採択の請願

発 議 に つ い て

— 一次の発議を可決しました。 —

◆発議第 1 号

基礎年金の改善を求める意見書の提出について

【内 容】

厚生労働省は、年金支給額を2013年10月から2015年4月までに2.5%を減額改定しました。2015年4月には初の「マクロ経済スライド」適用で0.9%を減額改定しました。また、2019年4月からは、物価が1%上昇したにもかかわらず、賃金の0.6%増を基準に、マクロ経済スライド調整率0.5%を減じて0.1%増の支給にとどめました。政府の計画では、「少子化」と「平均余命の延び」を理由として「マクロ経済スライドの調整率」により、基礎年金はこの先30年間にわたって30%も減額される計画であると伝えられます。

年金の実質的な低下は、消費税増税、医療・介護保険料の負担増のもとで、年金生活者にとってはダブルパンチとなっています。生きる糧としての食生活さえ切り詰めるを得ない深刻な状態をもたらしています。年金は、そのほとんどが消費に回ります。年金の削減は、その分購買力を低下させ、地域経済と地方財政に大きな影響を与えています。年金の減額改定で、生活保護世帯へ移行する高齢者も増えてきています。

よって国におかれては、このような危機的状況の中で、高齢者が安心して暮らしていけるように次の事項について強く要望します。

1. 若者も高齢者も安心して老後を暮らせるように、老齢基礎年金等の支給額を改善すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

【送付先】 内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

— 意見書については、すみやかに関係省庁へ提出しました。 —

五泉市議会ホームページをご覧ください。

<https://www.city.gosen.lg.jp/parliament/index.html>

市議会ホームページには、議会だよりや議員名簿、議会の予定・議決結果など、五泉市議会の情報を発信しています。

また、「会議録検索」をクリックすると、市議会の本会議での会議録を閲覧することができます。

スマホでも！
タブレットでも！



今定例会から「議員別議案賛否一覧表」については、市議会ホームページに掲載されておりますのでご覧ください。

<https://www.city.gosen.lg.jp/parliament/4582.html>

なお、五泉市立図書館及び五泉市立村松図書館にインターネット用パソコン（無料）が設置されております。



水芭蕉公園

新型コロナウイルスの
集団発生防止に
ご協力をおねがいします

3つの「密」を避け ましょう!

新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

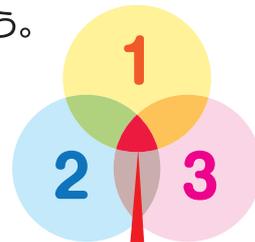
①換気の悪い
密閉空間



②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い!

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には消毒などを行ってください。

編集後記

今年は何年にも無く雪が少ない暖かな冬でした。

二月定例会は、新年度予算案審議が中心であり、市民の皆様から預かった市税がどのような事業に使われていくのか、有効に使われていくのかを審議する場です。子ども達の未来のため、安心して暮らせるまちづくりのために適切な予算執行を望むものです。

また本号より議会だよりの構成を一部変えて、新たに一般質問を掲載し皆様にお届けしています。

結びに新型コロナウイルスの影響が続いていますが、感染症対策の基本は、手洗いと咳エチケットです。皆さんも日頃から気をつけ、感染を予防しましょう。そして一日でも早く治まることを祈っています。令和二年度も読みやすい、わかりやすい議会広報作成に取り組んでまいります。

■広報委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 深井 邦彦 |
| 副委員長 | 佐藤 渉 |
| 委員 | 阿部 周夫 |
| 委員 | 鈴木 良民 |
| 委員 | 白井 妙子 |
| 委員 | 山田 正良 |
| 委員 | 佐藤 良徳 |

議会に関するご意見・ご要望をお寄せください。 五泉市議会事務局 TEL 0250-43-3911